

# 2017年 川崎工場 環境報告書

Kawasaki research&manufacturing  
facilities sustainability report

# FUJITSU



富士通フェスティバル  
春まつり川崎



富士通フェスティバル  
イルミネイト川崎



前庭の見学



アメリカンフットボール部  
ふれあい教室

1935年の創業以来、「自然と共生するものづくり」を追求してきた富士通グループは、環境保全を経営の最重要事項の一つと位置づけ、FUJITSU Wayの企業指針「社会に貢献し地球環境を守ります」に基づき、環境経営に取り組んでいます。

## 1. ごあいさつ

2020年以降の温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」が発効されました。これは、世界共通目標として、地球の平均気温上昇幅を2.0 以下に抑制し、さらに、1.5 以内へ向けて努力することを採択したものです。今後、貧困、食糧・水の不足、社会インフラの未整備、気候変動、自然災害や急激な都市化など、世界が直面する困難な課題に対し国際社会が一丸となって取り組んでいくことが求められています。

富士通グループは、デジタル革新を支えるテクノロジーにより、自らのCO<sub>2</sub>ゼロエミッションの達成と脱炭素社会の実現および気候変動への適応に貢献することを目標にした、2050年までの中長期環境ビジョン「FUJITSU Climate and Energy Vision」を策定しています。川崎地区は、富士通グループの研究開発の中核を担う大規模拠点であると同時に、富士通グループの環境活動の原点でもあります。地球規模の問題を社員一人ひとりが自らの問題ととらえ、工場、オフィス、家庭における環境負荷の低減、社会貢献活動に積極的に参加する取り組みを今後も進めてまいります。

富士通株式会社  
川崎工場長

吉田 明宏

## 2. 事業所の紹介

### ■ 富士通株式会社 川崎工場

- 所在地 : 神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1
- 開設 : 1938年(昭和13年)10月
- 敷地面積 : 約155,000m<sup>2</sup>
- 事業内容 : システム・製品に関わる全ての研究、開発、各生産工場の連携・統合業務



### 3. 環境活動

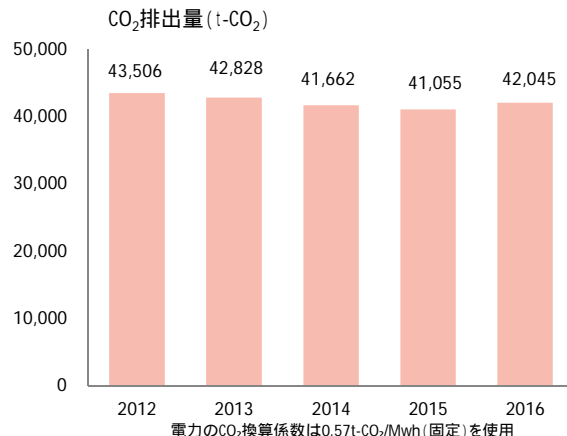
#### ■ 地球温暖化防止への取り組み

川崎工場ではエネルギー消費CO<sub>2</sub>排出量を抑制するため、省エネ型設備の導入やオフィス空調温度の適正化、照明・OA機器・空調機器の節電などに取り組んでいます。

#### ■ グリーン電力(1)の使用

社会における再生可能エネルギーの普及拡大は、地球温暖化対策、エネルギー源多様化による安定供給の確保、エネルギーを基軸とした経済成長などの観点から、より一層重要となっています。川崎工場では、富士通フェスティバル 春まつり/イルミナイト川崎のすべての電力に風力発電によるグリーン電力を使用しています。

(1) 風力、太陽光などの自然エネルギーにより発電したCO<sub>2</sub>を発生しない電力

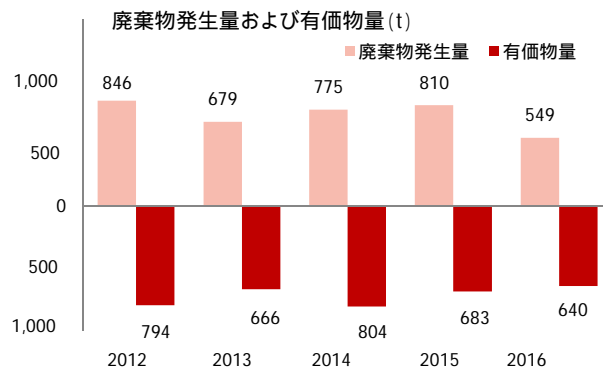


#### ■ 廃棄物対策

川崎工場では資源循環型社会をめざして3R(Reduce:発生抑制、Reuse:再使用、Recycle:再資源化)を推進するという基本方針のもと、より高度な3Rを目指して、社員一人ひとりが廃棄物の分別徹底を推進しています。

#### ■ シュレッダー処理による紙ごみの削減

川崎地区では、書類のシュレッダー業務を特例子会社である富士通ハーモニー株式会社に委託することで、障がい者の雇用促進と紙ごみとして処分する書類の再資源化に努めています。



### 4. 社会貢献活動

川崎工場は地域社会の一員として地域と密着した環境コミュニケーションを行い、地域への貢献と調和を図ります。

#### ■ 栗木山王山緑地保全活動

川崎工場は、川崎市が保有する「栗木山王山特別緑地保全地区」(川崎市麻生区)の緑地保全活動を2012年度より開始しました。これまで当地区は、雑木林の利活用が長年放棄され、竹が侵入するなど荒廃した状態にあり保全管理が課題となっていました。このため、川崎市と川崎工場が保全管理計画を策定。計画の段階から行政と企業が協働し、企業の持つ独自技術やマンパワーを緑地保全活動に活用する先進的な取り組みです。緑地保全活動は、川崎市支援のもと、富士通グループ社員がボランティア活動として、雑木林内に侵入した竹の伐採、下草刈りなどを実施。加えて独自のICTを活用した生物調査などにも取り組み、概ね7ヶ年をかけ良好な里山への再生を目指します。



緑地保全活動の様子

#### ■ 富士通スタジアム川崎スポーツフェスタ

富士通スタジアム川崎の地域イベントとして、富士通スタジアム川崎スポーツフェスタが開催され、陸上競技部・アメリカンフットボール部・女子バスケットボール部・チアリーダー部による各スポーツ教室を提供しました。また、パラスポーツ(障がい者スポーツ)体験イベント「Fujitsu Inclusive Sports Festival2017」も開催されました。



富士通スタジアム川崎スポーツフェスタ

#### ■ 富士通フェスティバル 春まつり/イルミナイト川崎

川崎工場では、地域のみなさまに弊社の取り組みをより身近に感じていただくことを目的として、富士通フェスティバル春まつり/イルミナイト川崎を開催しています。イルミナイトでは、株式会社富士通コンピュータテクノロジーズの視線検出システム「EyeExpert」を活用した「魔法学校～パソコンは目で操作できる～」を開催し、視線だけでパソコンを操作する富士通の最新技術の体験をしていただきました。また、川崎工場で職業実習中(インターンシップ)の中央支援学校の生徒のみなさまにも、イルミナイトのツリーコンテストに参加いただくなど、地域との繋がりを深めることを大切にしています。



魔法学校

ツリーコンテスト



## 5. 環境教育・環境啓発活動

環境の大切さを知っていただくため、環境教育や各種イベントを実施しています。

### ■ 川崎工場ボランティア清掃活動

川崎地区では地区内各事業所周辺のボランティア清掃活動を10月～3月の間、定期的に行っています。継続的に清掃活動を実施し事業所周辺の美化向上に努めています。川崎工場のボランティア清掃に女子バスケットボール部の選手も参加し環境とスポーツの融合を図りました。



ボランティア清掃の様子

### ■ 竹細工教室

富士通フェスティバル 春まつりノイルミナイト川崎で、栗木山王山緑地保全活動の紹介と活動で伐採した竹を使用した「竹細工教室（万華鏡、クリスマスリース作り）」を開催しました。参加者の皆様には、自然の素材かつ身近にある竹を使用し、手軽に作ることで自然への関心、物づくりの楽しさ、発想を広げる体験をしていただきました。また、地域の皆様に参加頂くことで、栗木山王山緑地保全活動を知っていただくとともに緑地保全、生物多様性保全の大切さを学んでいただきました。



竹の万華鏡

竹のリース

### ■ タブレット出前授業

富士通では、未来を担う子供達に地球環境問題とその原因を知り、解決するために出来ることを考え、行動する力を養ってもらうための支援として、全国の小中学校を対象とした環境出前授業を積極的に推進しています。

「仕事とエコ～キャリア教育×環境教育～」と題し、近隣の小学生を対象にタブレットを使用して、将来の地球環境問題改善のために、今できることだけでなく、将来の仕事の中で環境活動を行うことの重要性に気づいてもらい、この授業を通して「自分のなりたい将来の仕事」の中で「どのような環境活動ができるか」を考え、学習していただきました。



授業の様子

## 6. 安心・安全な工場への取り組み

### ■ 土壌・地下水汚染

川崎工場では、過去の操業による土壌・地下水汚染が判明しています。そのため敷地内に観測井戸を設け、地下水汚染の状況について監視するとともに、汚染源と推定される場所や敷地境界で地下水の揚水処理を実施しています。

以下の表は、観測井戸で2016年度法規制を超える測定値が確認された物質の最大のものを記載しています。

物質名	測定値	規制値
シス-1,2-ジクロロエチレン <sup>*1</sup>	5.9mg/L	0.04mg/L以下
ひ素及びその化合物 <sup>*2</sup>	0.079mg/L	0.01mg/L以下

\*1 使用履歴のあるトリクロロエチレンの分解生成物質。

\*2 最大値が検出された観測井戸周辺では検出された物質の使用履歴がなく、自然由来によるものと推定しています。

## 7. 環境マネジメントシステム

### ■ EMSの構築・運用状況

富士通グループでは国際規格ISO14001に基づく環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、グループが一体となった環境改善活動を推進しています。2004年度末に国内連結子会社でISO14001を取得した後、対象を海外連結子会社に拡大し、2005年度末にグローバル統合認証を取得しました。川崎地区もその一員として環境マネジメントシステムを運用し、効率的で実効性の高い環境活動の推進に努めています。

## 8. 環境方針

富士通は、1935年の創業以来、「自然と共生するものづくり」という考えのもと、環境保全を経営の最重要事項の一つと位置づけ、富士通グループの事業の独自性を反映させた環境経営を推進するために「富士通グループ環境方針」を定めています。川崎地区では、富士通グループ環境方針に基づき、独自の環境方針と重点テーマを定め、環境マネジメント活動に積極的に取り組みます。

## ■ 川崎地区環境方針

川崎工場は地域環境との調和をコンセプトとする「池と前庭のある公園式工場」として誕生し、現在も都市化が進む中であって、多摩川や川崎市等々力緑地と連携した地域全体の貴重な緑地空間として、その基本方針を引き継いでいます。

川崎地区は川崎工場を中心とした複数事業所で構成され、当社製品に関わる全ての研究部門、開発部門、各生産工場を連携・統合する富士通グループの研究開発の中核であるとともに、地域と隣接する都市型活動拠点であることから、工場開設時のコンセプトを大切に継承しつつ、地区の特徴を最大限に活用しながら『人と環境が融合した透明性のある環境活動』を基本理念として、以下の方針に基づき環境活動を推進します。

- (1) ISO14001に基づき構築した環境マネジメントシステムにより環境保全活動を推進します。
- (2) 当拠点の活動、製品、サービスに関わる環境側面に常に認識し、環境汚染の防止を推進するとともに環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
- (3) 当拠点の活動、製品、サービスに関わる環境関連法規、協定、自主基準及び組織が同意したその他の要求事項などを順守します。
- (4) 良き企業市民として、環境保全活動への協力や情報提供、社会や地域における環境政策への支援・協力を積極的に行います。
- (5) この環境方針の達成のため、環境目的・目標を設定し、当拠点内の関係・関連会社を含む全部門、全社員をあげて環境活動を推進します。
- (6) 当拠点の活動、製品、サービスに関わる環境側面のうち、次の項目を環境活動の重点テーマとして取り組みます。
  - 自らの事業活動/事業拠点の温室効果ガス(GHG)排出量を削減する
    - ・エネルギー消費CO<sub>2</sub>排出量の削減
  - 社会貢献活動の推進
    - ・良き企業市民としての活動
- (7) 社員一人ひとりは、それぞれの業務や市民としての立場を通じて、持続可能な資源の利用、気候変動対策や生物多様性保全をはじめとした地球環境保全に貢献し、更に広く社会へ普及啓発を図ります。
- (8) 本環境方針、目的・目標は、年1回定期的に見直します。なお、見直す必要が生じた場合は、環境管理統括責任者の判断で適宜見直します。
- (9) 本環境方針、目的・目標は、川崎地区環境マネジメントマニュアルで定義した適用範囲に基づき、当拠点及び当拠点のために働く全ての人々に周知すると共に、必要に応じ、社外にも開示します。



インターンシップ受け入れ



多摩川エコラシコ



外柵花壇

## 富士通株式会社

川崎工場 総務部

〒211-8588 川崎市中原区上小田中4-1-1

TEL: 044-754-8976 FAX: 044-754-2524

発行責任者 吉田 明宏

編集責任者 杉山 辰将

発行年月日 2017年7月

記載事項対象期間 2016年4月～2017年3月

報告URL: <http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/communication/report/group/>

印刷: 2017年6月 01